

本会議では、外国人、高齢者等の多様な背景や価値観を持った人々を内包し、多様なライフスタイルや幸せを追求することを可能とする社会を実現する技術群としての「インクルージョン・テクノロジー」※について、具体的なプロジェクトごとに体系化を行った。

※「AI戦略2019」では「多様性と社会的インクルージョンの実現をサポートする技術群」と定義されている。

技術	課題解決のための技術活用方法の概要(例)	「多様性を内包し、持続可能な社会」の実現に向けて解決すべき分野(例)	「多様性を内包し、持続可能な社会」の実現に向けて解決すべき課題(例)	本会議において紹介されたヒアリング対象者等
ブロックチェーン技術	<b>AI・ブロックチェーン技術等を活用</b> し、留学生・外国人社員・技能実習生等の学力・スキル・実習状況等の正確な記録を保持することにより、外国人が能力に応じて安心して就職し、帰国後に日本の技術・サービス等を適切に活用出来るようにする	外国人(在留)	外国人へのマッチングサポート ○来日前情報入手が困難 ○記録の不正が生じやすい ○帰国後に日本・日系企業等への就職が困難、日本社会と距離	・渦潮電機 ・伸こう福祉会
A I リアルタイムコミュニケーション ・多言語同時翻訳 ・対話AIシステム ・感情推定	<b>情報ポータル機能や多言語翻訳機能、行動・相談内容等のデータをAIを活用して分析</b> し、課題の抽出、解決策の提示を行うことにより、外国人向けに多言語環境やワンストップサービスを実現し、観光や生活における利便性の向上を図る	外国人(在留・観光)	多言語環境とワンストップサービスの実現 ○意思疎通・情報伝達が困難 ○ワンストップ機能が不在 ○ニーズの把握が困難	・新宿区 ・横浜市 ・日光市 ・小西美術工藝社 アトキンソン代表取締役社長
ニーズ・現状把握/推定 ・大規模Web情報分析 ・大規模社会情報分析	<b>IoT、位置情報技術を用いて収集した人の移動データ等の様々なデータをAIを活用して分析</b> し、人の流れを把握・予測することにより、子ども・高齢者等の交通弱者等や外国人を含むすべての人々が防災、観光等において直面する地域の諸課題を解決	地域・地方(防災・観光)	「人の移動データ」を活用した社会問題解決 ○大規模災害時の迅速かつ適切な対応が困難 ○観光・交流政策と求められているニーズとのミスマッチ ○都市部の日常生活における混雑・渋滞	・国土交通省 ・鎌倉市 ・産総研 野田総括研究主幹 ・東大 廣井准教授 ・三菱総研 ・三菱地所 ・日本ユニシス
人の移動データ関連技術 ・位置情報技術 (トラッキング等) ・IoT(カメラ情報収集等) ・大量データ可視化技術				

- ・我が国において、外国人、高齢者等の多様な背景や価値観を持った人々を内包し、多様なライフスタイルや幸せを追求することを可能とする社会＝「多様性を内包し、持続可能な社会」を実現することが急務であるが、その実現に向けて、内包されるべき人々が直面する様々な社会課題が山積している。
- ・総務省は、ICTによる社会課題解決を果たすべき立場にあることから、本会議では、「多様性を内包し、持続可能な社会」の実現をサポートするAI技術である「インクルージョン・テクノロジー」を活用し、ユーザのニーズや課題の解決に資する具体的なプロジェクトを選定した。
- ・プロジェクトの実施に当たっては、国、地方、民間といったステークホルダーが協力し、技術の開発・実証等、その先にある課題解決に向けて、できるものから速やかに取り組むことを期待する。
- ・本会議で提言したプロジェクトの実施を通じ、①子ども・高齢者や外国人を含む全ての人々が、②住む場所、使用言語、嗜好、文化的価値観等に関係なく、③安心して快適に暮らし、また、生きがいをもって活動できる社会が実現することを期待する。

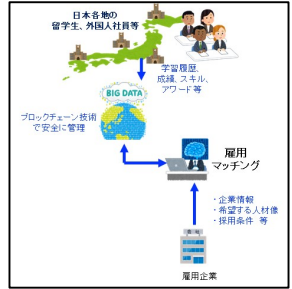
# 具体的プロジェクト

本会議では、「外国人」、「地域・地方」の分野において、3つの具体的なAIインクルージョン・テクノロジー関連プロジェクトを選定した。

ケーススタディ「外国人」

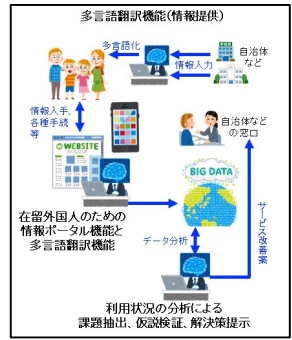
## プロジェクト①：外国人へのマッチングサポート

外国人が能力に応じて安心して就職し、帰国後に日本の技術・サービス等を適切に活用出来るよう、AI・ブロックチェーン技術等を活用して、留学生・外国人社員・技能実習生等の学力・スキル・実習状況等の正確な記録を保持する。



## プロジェクト②：多言語環境とワンストップサービスの実現

観光や生活における利便性の向上に資する外国人向け多言語環境やワンストップサービスを実現するため、情報ポータル機能や多言語翻訳機能、行動・相談内容等のデータをAIを活用して分析し、課題の抽出、解決策の提示を行う。



ケーススタディ「地域・地方」

## プロジェクト③：「人の移動データ」を活用した社会問題解決

子ども・高齢者等の交通弱者等や外国人を含むすべての人々が防災、観光等において直面する地域の諸課題を解決するため、IoT、位置情報技術を用いて収集した人の移動データ等の様々なデータをAIを活用して分析し、人の流れを把握・予測を実施する。

